

議員提案第1号

認定第1号 令和2年度尾張旭市一般会計歳入歳出決算認定に関する附帯決議

認定第1号 令和2年度尾張旭市一般会計歳入歳出決算認定に関する附帯決議を別紙のとおり提出する。

令和3年9月27日

尾張旭市議会議長 殿

提出者

山下 幹雄

賛成者

花井 守行

提案理由

この案を提出するのは、本市議会では、この9月定例会より新たに予算決算特別委員会を立ち上げ、行財政運営のチェック機能を強化し、より健全で透明性が保持できる市政運営維持並びに改善に向け、議会の責任を果たすべくスタートを切った。

今回の決算審査においては、総合計画を基本とした政策、施策による事務の遂行、複数年度にわたる事務事業においても疑義意見、進捗精度、優先度並びに規模の見直しの必要性等の提起があり、これを踏まえると不規則で緊急対応が迫られる行財政対応が今後も予測されることから、民意の反映と事務遂行の必然性と透明性を担保するため必要があるからである。

## 認定第1号 令和2年度尾張旭市一般会計歳入歳出決算認定に関する附帯決議

令和2年度の予算現額は36,370,162,000円となり、前年度比では100億円を超す市制施行50年間において経験のない行財政運営になった。それほどにパンデミックとの闘いは、いまだ予測のつかない市民への生命・財産に関わる社会的影響を与え続けていると言える。

その中、本市議会では、この9月定例会より新たに予算決算特別委員会を立ち上げ、18名全ての議員が委員となり行財政運営のチェック機能を強化し、より健全で透明性が保持できる市政運営維持並びに改善に向け、二元代表制の一役を担う組織の責任を果たすべくスタートを切った。

年度初めの緊急対応を余儀なくされた全国民一律給付金に係る準備事務予算等として専決処分が執行され、その後10回にわたる補正予算が組まれ特に財政はじめ関連当局の事務対応を慮れば、その労をねぎらうところである。

しかし、繰り返される感染症対応は一喜一憂に及ぶものではなく、健康被害の克服に続き経済の立て直し、教育や市民生活の安定を集中した上、可及的速やかに進めなければならない。

今回の決算審査においては、こうした緊急事態禍を十分に配慮した上で各分科会、全体会を通して活発な議論と緻密な執行状況の精査が実施された。その中でも、総合計画を基本とした政策、施策による事務の遂行、複数年度にわたる事務事業においても疑義意見、進捗精度、優先度並びに規模の見直しの必要性等の提起があった。

このことを踏まえ、不規則で緊急対応が迫られる行財政対応が今後も予測されるが、民意の反映と事務遂行の必然性と透明性を担保するためにも、より一層議会との協働と連携を図ることに尽力いただくこと。

上記決議する。

令和3年9月 日

尾張旭市議会